

事業コード	0070201	政策コード	06	政策名	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略																																															
事業名	世界遺産 - 縄文ルネサンス - 事業	施策コード	07	施策名	地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供																																															
		指標コード	02	施策目標(指標)名	良質な芸術・文化体験機会の充実と文化遺産の保存・活用																																															
部局名	教育委員会	課室名	生涯学習課文化財保護室	班名	埋蔵文化財・世界文化遺産班	(tel)	5193	担当課長名	武藤 祐浩	担当者名	新海 和広																																									
評 価 対 象 事 業 の 内 容																																																				
<p>1 - 1 . 事業実施の背景 (施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか)</p> <p>平成15年の4道県知事サミットの合意を受け、文化庁の公募に対し平成19年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」を提案した。平成21年に正式に世界遺産暫定一覧表への記載を経て、正式登録に向けた取組を4道県共同で進め、平成25年度以降国へ推薦書を提出し、令和元年にユネスコに推薦書が提出された。世界遺産登録推進事業を通して、県内全体の文化遺産の保全につなげ、また地域の活性化に資する。</p>				<p>5 . 前回評価における指摘事項等</p> <p>指摘事項</p> <p>縄文遺跡群の世界遺産登録推進事業は、登録の可否を決定する審査最終段階である。ユネスコ審査への対応や、登録に伴う事業などを着実に進めていく必要があり、事業の継続が妥当である。</p>				事業年度		平成20年度 ~ 令和03年度																																										
<p>1 - 2 . 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点</p> <p>ユネスコへ推薦書提出したことにより、イコモスの審査及び勧告、ユネスコ世界遺産委員会での審査及び採択を受け、正式登録になる。縄文遺跡群は、令和3年度に正式登録されたが、決議に付帯する勧告には、「不適切要素の撤去・修景」が明記されたため、大湯環状列石を通る県道移設等の対応が必要となる。</p>				<p>指摘事項への対応</p> <p>秋田県独自の取組として、県下の小学6年生に副読本「あきたの縄文」を配布した。4道県の取組として、イコモスの審査に対応したほか、東京や秋田の世界遺産フォーラムを動画配信の形で開催した。より一層、国民県民運動として展開していくために、着実な事業の継続が必要である。</p>																																																
<p>2 . 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの)</p> <p>満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期 : R03年 12月)</p> <p>満足度の把握方法</p> <p>アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット</p> <p>その他の手法 (具体的に)</p> <p>満足度の状況</p> <p>9割以上の方が登録を喜び結果が確認された。</p>				<p>6 . 事業の内容</p> <p>事業概要及び推進状況</p> <p>世界遺産 - 縄文ルネサンス - 事業は、秋田県独自の事業である縄文ルネサンス事業と、4道県及び関係市町で負担金を拠出する事業である世界遺産登録推進事業で構成される。</p> <p>縄文ルネサンス事業では、あきたの縄文学習資料を作成し配布した。</p> <p>世界遺産登録推進事業では、ユネスコ等の審査に対応し、7月の世界遺産登録を達成した。</p>																																																
<p>3 . 事業目的 (どういう状態にしたかったのか)</p> <p>縄文遺跡群の世界遺産登録。併せて文化財を活かした地域の活性化を図り、文化財保護に対する理解を深める。</p>				<p>事業費等</p> <p style="text-align: right;">単位 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">内 訳</th> <th>当初計画事業費</th> <th>最終事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">縄文ルネサンス事業 / 一般財源・国庫等</td> <td style="text-align: right;">22,438</td> <td style="text-align: right;">22,438</td> </tr> <tr> <td colspan="2">世界遺産登録推進事業</td> <td style="text-align: right;">136,214</td> <td style="text-align: right;">107,314</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">事業費計</td> <td style="text-align: right;">158,652</td> <td style="text-align: right;">129,752</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">財 源 内 訳</td> <td>国庫補助金</td> <td style="text-align: right;">5,909</td> <td style="text-align: right;">5,909</td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td style="text-align: right;">3,600</td> <td style="text-align: right;">3,600</td> </tr> <tr> <td>一 般 財 源</td> <td style="text-align: right;">149,143</td> <td style="text-align: right;">120,243</td> </tr> </tbody> </table>				内 訳		当初計画事業費	最終事業費	縄文ルネサンス事業 / 一般財源・国庫等		22,438	22,438	世界遺産登録推進事業		136,214	107,314			0	0			0	0			0	0	事業費計		158,652	129,752	財 源 内 訳	国庫補助金	5,909	5,909	県 債	0	0	そ の 他	3,600	3,600	一 般 財 源	149,143	120,243				
内 訳		当初計画事業費	最終事業費																																																	
縄文ルネサンス事業 / 一般財源・国庫等		22,438	22,438																																																	
世界遺産登録推進事業		136,214	107,314																																																	
		0	0																																																	
		0	0																																																	
		0	0																																																	
事業費計		158,652	129,752																																																	
財 源 内 訳	国庫補助金	5,909	5,909																																																	
	県 債	0	0																																																	
	そ の 他	3,600	3,600																																																	
	一 般 財 源	149,143	120,243																																																	
<p>4 . 目的達成のための方法</p> <p>事業の実施主体</p> <p>県</p> <p>事業の対象者・団体</p> <p>県民</p> <p>達成のための手段</p> <p>世界遺産登録に必要な説明を盛り込んだ推薦書を提出し、ユネスコ・イコモスの審査に適切に対応する。遺跡の所在する県北地区だけでなく、県央・県南でも世界遺産登録への関心を高める。</p>				<p>当初計画及び最終の事業費比較</p> <p style="text-align: right;">最終事業費 / 当初計画事業費 = (0.82)</p>																																																

7. 事業の効果及び課題の改善状況
 推薦書の作成及びユネスコ・イコモス対応を適切に実施した。

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	全体	
目標a	0	0	0	0	0	0	0		
実績b	0	0	0	0	0	0	0		
b/a									0%
データ等の出典									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	全体	
目標a	0	0	0	0	0	0	0		
実績b	0	0	0	0	0	0	0		
a/b									0%
データ等の出典									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定できなかった場合の効果の把握方法
 指標を設定できなかった理由
 事業達成を世界遺産登録としているため、登録推進の取組を数値化できない。

成果(見込まれる効果)
 世界遺産登録に伴う地元及び県内の文化財保護意識の高揚。年度ごとのソフト事業に伴うアンケートにより県民の関心度を把握し、事業に反映させる。

所管課の評価				評価結果	
有効性の観点	住民満足度の状況	a	b	c	A B C
	【b又はcの場合の分析】				
	事業の効果	適用の可否 可 不可			
効率的性の観点	a 達成率100%以上	b 達成率80%以上100%未満	c 達成率80%未満		A 1.0~ B 0.8~ 1.0 C ~0.8
	【b又はcの場合の理由】				
	事業の経済性の妥当性 適用の可否 可 不可 a 1.0~ b 0.8~1.0 c ~0.8 $\left[\frac{\text{事業終了後の効果}}{\text{最終事業費}} \right] / \left[\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{当初計画事業費}} \right] =$ 【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】 世界遺産登録により事業を終了するため。				
総合評価	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)				世界遺産登録により、県民の期待に応えることができた。登録を目的とする本事業としては、十分な結果を得られたと考えられる。
	評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)				
政策評価委員会意見					

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1)各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2			
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	1		B

(注)事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2)総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		